

# 協会けんぽ鳥取支部長コメント

## 鳥取県国民健康保険団体連合会との協定締結にあたって

本日、鳥取県国民健康保険団体連合会と私ども協会けんぽ鳥取支部との間で、「健康づくりに向けた包括連携に関する協定」を締結いたしました。

国民皆保険制度のもとで、双方は医療費にかかわる支払い側としての役割りを担っておりますが、協会けんぽ鳥取支部は県下の中小企業の皆様が加入される職域で最大の医療保険者として、鳥取県国民健康保険団体連合会は、県下の19市町村が、それぞれの保険者として運営する国民健康保険を取りまとめる組織として、医療費情報や健診結果データを一元的に管理しております。

一方で、協会けんぽ鳥取支部及び各市町村は保険者として、日々加入者のための健診や健康づくり事業などを行っております。鳥取支部では双方が共通して課題としているがん検診や特定健診のセット健診や共同広報を琴浦町と智頭町でスタートしております。

今後、さらに他の市町村との連携を進め、それぞれの医療費や健診の受診状況等現状を把握したうえで健康課題への対策を共同で行うことをめざしていますが、その際必ず必要となるのが、県全体の市町村国民健康保険の加入者データです。

この度の協定で、共同して、協会けんぽ約20万人、国民健康保険約15万人、計35万人の加入者の医療情報や健診結果データなど、県民の約6割という膨大なデータを分析できることは、県下の職域と地域の過半のデータを網羅することとなり、県民の健康課題が明確化され、協会けんぽ及び各市町村においても効率的かつ効果的な保健事業の展開を図ることが可能となります。

また、今後の各市町村との連携事業に多大な貢献をするものと期待するものです。なお、この包括協定により、鳥取県の健康課題である「がんや生活習慣病の罹患者を減らす、またその未然防止を図る」ことに貢献できるよう事業効果や成果を高めていく所存でございます。どうぞ、よろしく願いいたします。

以上、私からのご挨拶とさせていただきます。



支部長 石本 健一